

平成 13 年 8 月 8 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 7 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間 流況調査：平成 13 年 7 月 10 日
流況調査：平成 13 年 7 月 25 日
流況調査：平成 13 年 7 月 27 日

調査海域 伊勢湾
別図「流況調査 測点」参照

調査船 測量船「いせしお」

現地調査員 水路部水路課海象係長 木村 琢磨
" " 海象係員 福良 博子
測量船「いせしお」船長 山本 常夫
" 機関長 石原 信雄
" 主任機関士 吉岡 直行
" 航海士補 渡部 千尋
京都大学助手 笠井 亮秀
" 大学院生 赤嶺 里美

調査項目 流況調査：水温・塩分

資料整理 海象係長 木村 琢磨、海象係員 福良 博子

2 観測経過

7 月 10 日及び 25 日は、天候・海上模様共に良く、7 月 10 日については St.4 の横断測線の観測を含め、全測点の観測を実施することができた。

また、7 月 27 日は、天候は良かったが、台風 6 号の影響による南よりのうねりと風浪があり、観測には苦慮したが、St.4 の横断測線の観測を実施した。

3 海 況 (成果は別図参照)

流況調査 (伊勢湾)

7月10日

水温： St.1～4 の上層及び St.3 の底層は、 平年に比べ 1～2 高かった。

St.5 の上層は、 ほぼ平年並みであった。

その他の地点においては、 平年に比べ 1～2 低かった。

塩分： 表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

その他の地点は平年に比べ 1～3 高かった。

7月25日

水温： 各測点の上層は、 平年に比べ 3～4 高かった。

St.1～5 の中・下層は、 ほぼ平年並みであった。

St.6 の中・下層は、 平年に比べ 1～2 高かった。

塩分： St.1～5 の表層は河川水流入による低塩分水が見られなかつた。

St.6 の中層・下層は、 ほぼ平年並みであった。

その他の地点は、 平年に比べ 1～2 高かった。

7月27日

水温： 表層付近は平年に比べ 2～3 高かった。

その他の地点は、 ほぼ平年並みであった。

塩分： 表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

その他の地点は、 平年に比べ 1～2 高かった。

7月10日と25日の比較

St.1～5 の上層が高温高塩分水化していた。

ただし、 一部が低温高塩分水化していた。

St.6～St.7 の上層が高温低塩分水化していた。

全般的に高温水化していた。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。